

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型デイサービスGottcha		
○保護者評価実施期間	* 令和7年11月26日以降、現在利用者なし		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	* 令和7年11月26日以降、現在利用者なし	(回答者数) * 令和7年11月26日以降、現在利用者なし
○従業者評価実施期間	令和8年3月24日		～ 令和8年4月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 4月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要に応じて、子供が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	不安が強い場面や感情が高ぶった際には、個別スペースで気持ちを整えられるよう、柔軟に利用できる体制を整えている。 静養室・相談室を必要に応じて使用できるようにしてある。	他利用者様の状況により部屋が空いていないことがある為、使用可能な部屋の環境調整を行う。 誰でも自由に入出入り出来る為、工夫をしていく。 1対1の状況になれる機会を作る。
2	学校との年間計画・行事予定等の情報交換、子供の下校時刻の確認等の情報共有や、送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等の連絡調整を適切に行っている。	ご家族様からの予定表を記入していただき、活用している。またノートを確実にチェックするようにして行事予定の把握や下校時間の把握など行っている。また、送迎時に保護者の方から情報交換を行っている。	学校からの情報が、送迎職員から全体に伝わっていないことがある。 予定表などを貼り出しを行い「見える化」し、全職員が把握出来るようにする。
3	子供や保護者様からの苦情についての対応の体制を整備すると共に、保護者様に周知してもらうよう強化していく。 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応するようにしている。	苦情があれば、迅速に対応するようにしている。 日々のミーティング等で話し合いを行い、今後の対応方法を検討している。	窓口となる職員が管理者であることが多い。 他職員でも対応できるように体制を整備し、より迅速に対応できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子供と活動する機会がなく課題に挙っている。	利用者が1名しかいない、利用時間が短い等の理由により他施設や地域と交流する機会が持てていない。 またコロナ等の感染症等の流行以降、遠ざかってしまっている。	外部への発信や交流を積極的に行う。 交流の幅を広げるための情報収集や調整などの取り組みが必要。
2	父母の会の活動を支援することや保護者会等を開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているかも課題として挙っている。	対象者が1名の為、保護者同士という交流は出来ていない。	放課後等デイサービス利用者が増えれば保護者会なども検討していく。 その為、放課後等デイの対象者増に向けた取り組みが必要と考える。
3	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画するようにしているが、参画出来ていない職員も一部ある。	一定の職員しか関わることが出来ていない。 また障害に対して職員の理解度が一律で無い為、適切な支援を行うことが課題となっている。	従事する職員全体の理解度を深めていく必要がある。 対応している職員にも聞き取りを行い、目標設定を行っていく。 障害への理解度を深める為研修を行っていく。